

摂食・嚥下に関するアセスメント

利用者名：

	チェックポイント	評価	考えられる原因	対処の方法
むせ	水分にむせる	有・無	口腔内の食塊保持不良 嚥下反射のタイミングのずれ 喉頭閉鎖不良	水分形態を考慮する 水分温度を考慮する 固形物との摂取
	水やお茶はむせるが牛乳はむせない	有・無		
	食べ始めにむせる	有・無	嚥下反射のタイミングのずれ 軽い仮性球麻痺の疑い	食前、十分なコンタクト 食前のうがい
	途中からむせる	有・無	嚥下筋の易疲労性 筋力低下	食物の形態を考慮する 健口体操を行う
	続けて飲み込もうとするとむせる	有・無	咽頭への食物残留 嚥下反射が弱い	※カラ嚥下を行う
咳・痰	食事の途中から咳が出はじめる	有・無	誤嚥	食事形態を考慮する 食事姿勢を整える 介助方法を正しく行う 摂食のタイミング 嚥下の確認
	食後1, 2時間に咳がよく出る	有・無		
	食事を開始してから痰が多い	有・無		
	食後、横になるとすぐに咳が出る	有・無	胃・食道逆流による誤嚥	食後の休息姿勢を考慮する
	ギャッジアップしないで平らに寝ると咳が出る	有・無		ギャッジ角度の維持
食物残留感	喉に食べ物が残った感じがする	有・無	咽頭への食物残留 悪性腫瘍等疾病の疑い	症状に応じて精査
	食事中、食後にガラガラ声になる	有・無		※カラ嚥下を行う 適度なトロミ・粘性のある食物形態
	痰が絡んだような声になる	有・無	咽頭への食物残留	
食欲・疲労	むせるために食欲が低下している	有・無	むせによる疲労・不快	食物形態・介助方法を検討する
	摂食時の疲労のために食欲が低下している	有・無	摂食時の疲労・不快	食事時間と適正な介助による疲労防止
	「食べると疲れる」という訴えがある	有・無	誤嚥	上記参照
食事内容の変化	汁物をとらなくなった	有・無	口腔内の食塊保持不良 喉頭閉鎖不全	適度なトロミ・粘性のある食物形態
	パサパサしたものが飲み込めない	有・無	唾液の分泌不良 口腔期の障害	
	ご飯が食べられずお粥になった	有・無	咀嚼能力の低下 舌の機能低下	全体的な体力の向上 健口体操・咀嚼能力の向上を図る
	柔らかいものばかり食べるようになった	有・無		
食べ方の変化	以前に比べて食べるのが格段遅くなった	有・無	摂食能力の低下 軽度の嚥下障害	
	上を向かないと飲み込めない	有・無	咽頭への送り込み障害	口・舌の機能の向上 食事姿勢の検討
	食べ物が口からこぼれる	有・無	口唇の閉鎖不全 舌根への送り込み障害	口唇の閉鎖の援助 口・舌の機能の向上
	食べ物が口の中に残る	有・無	口腔内の知覚障害 舌の運動障害	口腔内残渣物の確認
嚥下テスト	①流涎の評価	1. 常時顕著 2. 会話・摂食時顕著 3. 会話・摂食時軽度 4. ほとんどなし		
	②嚥下(水飲みテスト)	1. 1回でムセ無 2. 2回以上でムセ無 3. 1回でムセ有 4. 2回以上ムセ有 5. ムセ多い		
	③嚥下(半固形物)	0. 不能・ムセ顕著 1. かなり困難・残渣多い 2. 多少困難・残渣少し 3. 容易・残渣無		
	④反復唾液嚥下テスト	0. 嚥下運動なし 1. 嚥下回数1回 2. 嚥下回数2回 3. 嚥下回数3回以上		
判定	<input type="checkbox"/> 重篤な摂食嚥下障害だが適切な援助で栄養保持が可能 <input type="checkbox"/> 嚥下障害を認め、適切な援助が必要 <input type="checkbox"/> 摂食障害を認め、適切な援助が必要 <input type="checkbox"/> 摂食による栄養保持は困難		評価判定日： 年 月 日	
			判定者(医師)：	